

## 1 研究主題について

☆研究主題：自ら考えよく学び、生き生きと活動する児童の育成

～サブテーマ：外国語活動の実践を通して～

## 2 研究主題及びサブテーマ設定の理由について

<教育の今日的な課題より>

インターネットの普及，国境を越えた人的交流の進展などにより，人々の活動範囲は格段に広がり，世界は急速に狭まってきている。よってますますグローバル化が進み，英語を中心とした外国語が必要となる場面はより多くなると考えられる。そこで，学校教育においては，時代の変化への創造的な対応が求められ，国際人として主体的に生きていく上で必要な資質や能力を養うことが求められている。

新学習指導要領には「外国語活動」が新設された。5・6年生の教育課程に位置づけ，年間35時間を行うこととなる。さらに内容の取り扱いについては，「英語を取り扱うことを原則とする」と書かれていて，いよいよ英語を中心とした外国語活動が本格的に実施されることとなった。

以上のことから，本校の研究主題『自ら考えよく学び，生き生きと活動する児童の育成』及びサブテーマ「外国語活動の実践を通して」は，このような社会的要請に合致するものであり，国際人として活躍する児童一人ひとりの可能性を広げるものであると考えられる。

<学校教育目標より>

本校は学校教育目標として，次の4項目を設け，調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指している。

- 自ら考え よく学ぶ子ども
- 思いやりのある 心豊かな子ども
- 命を尊び 心身ともに健康な子ども
- ふるさとを愛する 素直な子ども

上記の学校教育目標を具現化していくためには，子供たちが主体的に活動する「体験的な学習の場」やお互いを思いやる心を育てる「コミュニケーション活動の場」を設定することが必要であるとする。そこで，研究テーマ「自ら考えよく学び，生き生きと活動する児童の育成」を設定した。

<地域及び児童の実態より>

外国語に関する言語環境を見ると，「清里」と言う観光地を近くに控えていることもあり，夏場を中心に多くの外国人観光客が当地を訪れている。また，清里を開拓するにあたって尽力されたポールラッシュ博士やキープ協会の存在も忘れてはならない。戦後復興の過程で，アメリカを中心とした様々な外国の文化が八ヶ岳南麓にもたらされ，一つの文化として根付いている。

外国語活動に取り組む児童の様子からは，意欲的で，生き生きとした姿が見られる。児童の実態調査においては「外国語活動が好き・どちらかというが好き」と答えた児童が9割以上で，ゲーム

や歌などを取り入れた外国語活動を通して、外国の言語や文化に親しんでいると考えることができた。

＜これまでの研究経過＞

◇平成16年度・17年度：「レッツ・チャレンジ小学校英語活動推進事業」の指定校。

○本校独自の英語活動の年間指導計画を作成・実践した。

○国際理解集会（年間2時間）を開き、外国の音楽や文化に触れる機会を作った。

◇平成18年度：「レッツ・チャレンジ小学校英語活動推進事業」の成果を生かした実践及び県での発表。

○“学級担任が単独で行う英語活動の授業”における内容、教材・教具、学習形態等を改善した。

○「クラスルームイングリッシュ」の研究及び実践を行った。

◇平成19年度・20年度：「わくわくイングリッシュ小学校サポート事業」の指定校。

○年間指導計画の改編・実践を行った。

（5、6年の時数を33時間に／6年間で何度も繰り返しながら活動できるように）

○会議室を“イングリッシュルーム”としても使えるように環境整備を行った。

○公開研究発表会（1学期・全クラス公開授業・全体会（管先生による講演））を実施した。

○自主公開授業を実施（2学期・全クラス）した。

上記のような研究経過をもとに、今年度は、

①昨年度までの研究実践の継続

②英語ノートを使った実践研究

③年間指導計画の改善

④英語力向上のための実践研修

について研究していくこととした。

### 3 研究内容について

#### ◎外国語活動に関わる研究

①年間指導計画に沿った外国語活動の実践・検証・改善

②英語ノートを使った実践研究（電子黒板の活用も含め）

③年間指導計画の改善（英語ノートの活用を生かし、単元的な計画へ）

④英語力向上のための実践研修（ALTを講師に発音などを）

○国語力（コミュニケーション活動に関わって）に関わる研究

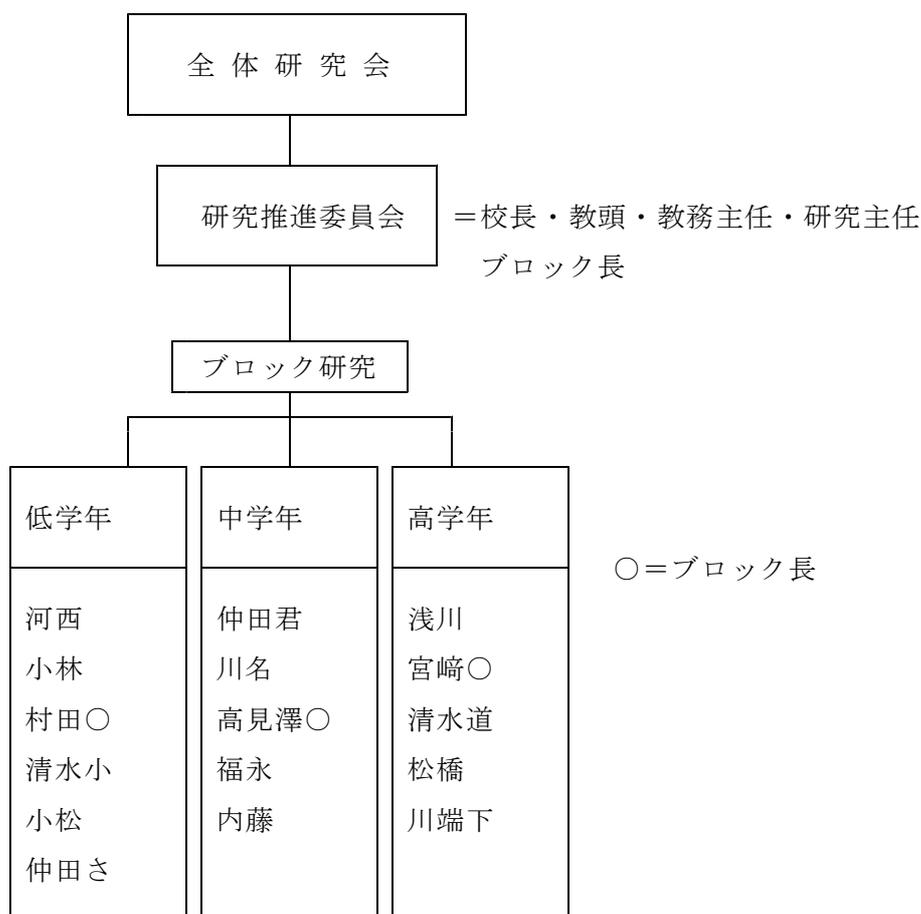
○特別支援（講師を招請しての研修）に関わる研究

### 4 研究方法について

○全教師の共通理解の上立って授業実践を行い、反省・評価していく。

- 全体会・ブロック研の2つの組織で校内研究を行うことを原則とする。  
(ブロック研は、研究組織参照。)
- ブロック研は、ブロック長ほか研究推進委員が中心となり研究を進める。
- ブロック研は年間行事予定に定められている校内研究日を原則とするが各ブロック長が中心となり必要に応じて随時開くものとする。
- 授業研究を中心に、指導主事等の指導を仰ぎ研究を深めていく。
- 研究推進委員会は、校長・教頭・教務主任・研究主任・ブロック長で構成し、研究推進に関わる連絡調整等を行う。
- 研究推進委員会は、必要に応じて開く。
- 校内研に関わる諸会議は、原則として勤務時間内に終了できるように努める。
- 外国語活動（主に英語活動）に関する実践は、昨年度のものを基本として、教材・教具や指導方法に更に改善を重ね（英語ノートの活用等）、また、より先進的なものを発掘し、新指導要領本格実施に備える。
- 他校の公開研究会の参加にあたっては、積極的に行う。また全体会において、環流報告をする。
- 年度末に研究紀要を作成し研究の成果等を残す。

## 5 研究組織について



## 6 研究計画

### < 1 学期 >

- ・ 研究の全体計画（研究主題・研究内容・研究計画等）の作成
- ・ 本校の「外国語（英語）活動」に関する共通理解
- ・ 年間指導計画に沿った実践
- ・ 英語ノートの内容把握

### < 夏期休業 >

- ・ 英語ノートを使った実践の計画
- ・ 年間指導計画の改善

### < 2 学期 >

- ・ 年間活動計画に沿った実践・検証・改善
- ・ 英語ノートを使った実践
- ・ 研究授業（低・中・高各ブロックで1回ずつ）の実施
- ・ 国際理解集会（インターナショナルデー）の実施
- ・ 先進校公開研究会への参加と環流報告

### < 冬季休業 >

- ・ 研究紀要作成に向けての原稿作り

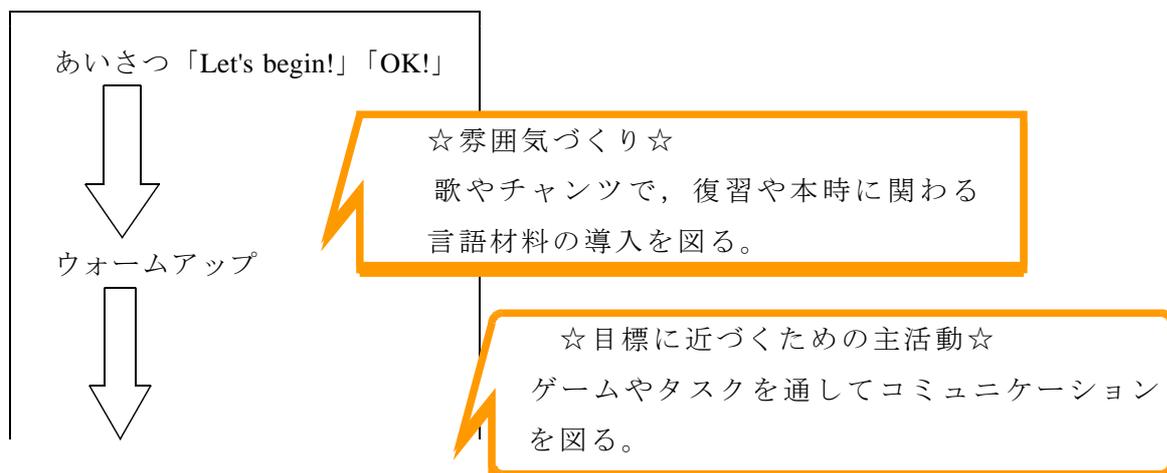
### < 3 学期 >

- ・ 研究紀要の作成
- ・ 研究のまとめと次年度の研究の方向性の検討
- ・ 年間指導計画に沿った実践・検証・改善

## 7 授業についての共通理解

本校の外国語（英語）活動の特徴は、『学級担任主導』で行うところにある。昨年度までも高根西小としての『学級担任主導』の授業について研究が進められた。今年度もそれを踏襲し、以下のように共通理解をして授業実践を進めた。

### ◇ 1 時間の流れについて ◇







	③日本と外国の文化の違いやよさに気づいている。	○
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観察による見取り <ul style="list-style-type: none"> <li>・表情や動作</li> <li>・発言やつぶやき</li> <li>・活動への参加の様子</li> </ul> </li> <li>●振り返りカード</li> </ul>	

西小独自の評価方法

方法	場面	効果	留意点
any questions	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の途中</li> <li>・活動のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した言語材料をもとに、さらに詳しく知りたいことや他に知りたいことを取り上げ、活動内容を充実させることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の時間内あるいは次の時間等で生かすことができるように内容を工夫する。</li> </ul>
振り返りカード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が活動を振り返りながら次時への意欲をつなぐための自己評価となる。</li> <li>・児童が楽しく、意欲的に活動できたかを教師が確認、評価することができる。</li> <li>・質問や感想等をその後の活動に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間通して行い児童の関心、意欲などの変容を見ていく。</li> </ul>

**簡単な英語を堂々と！**

**短い単語でもメッセージを伝えられる！**

**ジェスチャーや表情を使って！**



**「This is my English」**

**という気持ちで楽しく子供たちと交流しましょう！**

## 8 研究経過

月 日	研究形態	研究の主な内容
4月13日	全体研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までの研究経過の概要</li> <li>・国際理解活動及び外国語（英語）活動について</li> <li>・本年度の研究の方向性</li> <li>・研究主題</li> <li>・研究主題とサブテーマの設定理由</li> <li>・研究内容      ・研究方法      ・研究組織</li> <li>・研究計画      ・授業についての共通理解</li> </ul>
5月11日	全体研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語ノートの活用</li> <li>・公開授業の実施の検討</li> </ul>
6月 8日	自主公開授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年 英語活動</li> </ul>

	(指導主事招請)	題材名：「体の調子を伝えよう」 授業者：村田 久陽 小松 悦子 Tegan (ALT)
	全体研究会 (指導主事招請)	・自主公開授業の反省
7月23日	全体研究会	・1学期の実践の反省 ・5, 6年の年間指導計画の見直し
8月19日	全体研究会	・教育課程研修会環流報告
8月21日	全体研究会	・5, 6年の年間指導計画の見直し ・自主公開授業(2学期)の計画
9月28日	全体研究会 (指導主事招請)	・特別支援教育についての研修 「発達障害の特徴と 特別支援を要する児童への効果的な支援」 岡 輝彦 先生
10月5日	自主公開授業	・第5学年 外国語活動 題材名：「自己紹介をしよう I-②」 ～ガストンと親しくなろう!～ 授業者：宮崎 克美 Gaston (ALT)
	全体研究会	・電子黒板を活用した外国語活動の実践
10月26日	全体研究会	・自主公開授業の指導案検討 ・5, 6年の年間指導計画の見直し
11月30日	自主公開授業 (指導主事招請)	・第4学年 総合的な学習(英語活動) 題材名：「買い物ごっこをしよう②」 授業者：高見澤 成美 Gaston (ALT)
	全体研究会 (指導主事招請)	・自主公開授業の反省
12月14日	全体研究会	・1～4年の年間指導計画の見直し ・5, 6年の年間指導計画の作成
1月18日	全体研究会	・来年度の年間指導計画の確認 ・今年度の研究のまとめ ・総合的な学習の時間の見直し
2月22日	全体研究会	・研究の反省とまとめ ・来年度の研究の方向性

※上記以外に

①低・中・高各ブロックでの指導案検討会を随時行った。

②外国語指導助手中間期研修会にて、実践発表(第5学年のTTの授業)を行った。